

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな言いたい

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

原発再稼働の「地元同意」って？

ニュース



東北電力が再稼働を目指す女川原発

東北電力女川原発（宮城県女川町、石巻市）の再稼働について、宮城県などが同意することを決めたんだ。これまで議論になってきた「地元同意」って何だか分かるかな？

再稼働の対象となっ



3基あります。東日本大震災で東京電力福島第1原発のような重大事故は起きませんでした。運転は止まりました。東北電力は再び動かすことを目指し、防潮堤を高くするなどの安全対策を進めてきました。古い1号機は使用をやめる「廃炉」を決めました。

「合格」受け知事ら判断



ているのは2号機です。国の原子力規制委員会は福島事故を教訓に新しくした基準をクリアできるかどうかを審査し、今年2月に「合格」と判断。これを受け、政府が村井嘉浩知事に要請したのが地元同意。地元として再稼働を認めることです。

3自治体の地元議会はいずれに再稼働への賛成方針を示しており、村井知事や亀山紘石巻市長は「地元議会の判断は重い」などと話していました。



どこまで地元と呼べるのでしょうか？ 実は地元の範囲も、地元同意の必要性も、法律に基づく根拠はありません。電力会社が自治体と結ぶ安全協定が基になっています。女川原発の場合、敷地がある女川町と石巻市、そして県が対象。村井知事は県内全ての市町村長が集まった今月9日の会議で意見を聞きました。が、同意する方針は11日、女川、石巻との最終協議で決めました。

ただ、周辺自治体を対象に加えた茨城県内の例のように「地元の範囲をもっと広げるべきだ」という声も。女川原発の再稼働に反対する美里町の前町長の佐々木功悦県議会議員は「福島を見れば原発事故の影響は広い範囲に及ぶ」と訴えます。

「原発は重要な電源」と言われる一方、福島では今も多くの人避難生活を送っているんだ。再稼働問題をきっかけに、エネルギーについても考えてみよう。

今週の注目ニュース

◇21日（土） フライドチキンの日
1970年のこの日、フライドチキンのチェーン店「ケンタッキーフライドチキン」の日本1号店が愛知県名古屋市中区にオープンしたんだ。運営する会社が2015年、記念日に申請して登録されたよ。

きょうの紙面

- 2面 みんなのギモンにこたえるモン
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 いいね 小学校
- 6面 絵でわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー